



動物用医薬品の使用記録をつけていますか？

養豚農場では、獣医師の指示のもと、自分で薬を使用する機会が多くあります。薬の使用を記録しておくことは、休薬期間の確認のために重要です。母豚は管理プレートに記載しての管理が一般的ですが、肉豚はエサ箱や柱にチョークやマジックでメモをして、休薬を過ぎれば消してしまう…という方も多いかと思えます。今回は、少しでも手間をかけて、**薬の使用記録を日頃の飼養管理にも役立っている**、県内生産者の事例を紹介します。

肉豚カード		Group			
月 日 ~ 月 日 生 頭					
場所	移動日	飼料	添加剤	切替日	備考
離乳舎	②	①		②	
子豚舎	Number				
肉豚舎	Number				出荷日

◎ラミネートしてマジックで記入していく
◎備考欄にワクチン接種、注射治療を記録
◎分娩日・出荷日も一緒に記録



【使い方】

- ①あらかじめ使用する飼料と添加剤を用紙に記載しておく
- ②農場では、当該豚舎への移動日と飼料の切り替え日を記入
⇒いつ薬が切れたかわかる

出荷されたら内容を台帳に記入して廃棄
⇒データの積み重ね



よし順調だ

☆使用記録を積み重ねていくメリット☆

- ✓ 休薬期間の確認や出荷時の動薬使用履歴の申告がしやすくなる
- ✓ ロットごとの治療履歴や事故歴が分かりやすくなる
- ✓ 事故率が上昇した場合に、病性鑑定をして動薬の使用履歴から薬を変更する参考となる
- ✓ 在庫管理がしやすくなる

農場の管理方法に合わせた用紙で記録していくことも大切です。不明な点はぜひ、家畜保健衛生所までご相談ください。

愛知県東部家畜保健衛生所

電話 0532-45-1141 緊急携帯電話 090-8555-9041

肉豚管理カード

Group

		月 日 ~ 月 日		生まれ	頭
場所	移動日	飼料	添加剤	切替日	備考
離乳舎					
	豚房No.				
子豚舎					
	豚房No.				
肉豚舎					
	豚房No.				出荷日